

保証書

シーエルリンク株式会社
〒739-0033 広島県東広島市西条町馬木564-1
TEL: 082-490-0602 FAX: 082-490-0603

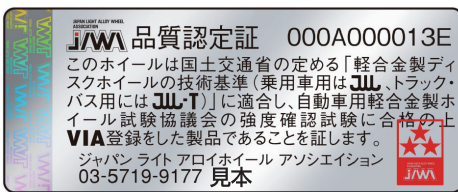
アルミホイール保証書、取扱説明書について

アルミホイールを正しく、安全に、ご使用いただくために

お取付、ご使用前に、必ず保証書、取扱説明書をお読みいただき、注意事項を守って、正しく安全にご使用ください。保証書、取扱説明書は、必要な時にすぐ読めるように、車検証と一緒にグローブボックス等に丁寧に保管してください。ご購入いただいたアルミホイールに関するご質問、ご使用中に不具合が生じた場合は、お買上販売店にご相談ください。お買い上げいただいたアルミホイール表面にJWL (J-T)、VIA マークがあるか、合わせて保証等の適用を示すJAWA品質認定証ステッカーが貼ってあるかご確認ください。JAWA品質認定証ステッカーについてご不明な点がある場合、(一社)NAPAC・JAWA事業部までお問い合わせください。

JAWA 品質認定証ステッカーについて

JAWA 品質認定証ステッカーは、JWL 基準に適合した第三者公的機関である「自動車用軽合金ホイール試験協議会」が行う試験に合格登録した(一社)NAPAC・JAWA 事業部会員のアルミホイールについて、ユーザーに対して信頼と安全の証として貼付出来るものです。JAWA 品質認定証ステッカーには、PL 保険が付保されています。



JAWA 事業部会員のアルミホイール目印

安全安心なアルミホイール選びの指針として、JAWA 事業部会員のアルミホイールに JAWA マークが表示されています。(2020 年 1 月以降の新製品より任意で表示)



保証の内容 (保証規定)

本保証書は、保証書記載のアルミホイールを下記の保証期間内及び条件に従って使用中、法令並びに取扱説明書記載の取扱い、点検、お手入れを順守していただいた場合のみ、修理、部品交換等を行う事を明記するものです。なお、お取扱い、お手入れの不具合や法令に違反する取扱い等に起因する不具合は、保証、修理交換等には応じられませんので予めご了承ください。

1. 保証の範囲

お客様がご使用のアルミホイール及び付属品に、法令及び取扱説明書に従った正常な使用状態で不具合が発生した場合、本保証書に示す保証期間と条件に従って、無料で修理または部品交換させていただきます。なお、修理のため取り外した部品等は弊社の所有となります。

2. 保証期間 (ご購入日に登録いただいた日から)

区分	保証期間	対象
一般保証	3年	ホイール本体、ホイールを構成する限定保証対象を除く
限定保証	1年	バルブ、センターカバー、センターキャップ、銘板(レンズ、オーナメント等)、ホイール本体及び付属品の塗装、メッキ、スパッタリング、メタルコート、錆、腐食。

3. 保証修理、部品交換の受付

保証修理の場合は、お買上販売店にホイールをお持ちになり、本保証書をご提示の上、修理等をお申し付け下さい。
*下記ご購入商品名、ご購入店名、ご購入・取付日等記入欄に記入されているか確認いただき、お買上商品の領収書(レシート)と一緒に、ご提示ください。保証書の提示が無い場合は、有償になります。

4. 保証の適用

この保証は日本国内で使用されているホイールについてのみ有効です。この保証書は、本書に明示した保証期間、条件のもとに保証、修理などを、お約束するものです。従って、保証期間経過後に発生した不具合の修理に関しては、原則として有償で修理、交換などを行います。但し、商品の不具合の都合によっては、有償修理できない場合があります。

5. 保証を適用しない事項

- 次に示す現象・不具合については、保証修理致しません。
 - 使用開始あるいは経年変化により発生する現象 (塗装剥離、メッキ剥離、スパッタリング表面および機械部品などの自然劣化等)
 - 走行中に衝撃がない、車検等の検査(ホイールバランス調整等)による振動、一般的に操縦フィーリングとされているもの
 - 通常の注意で見発覚できなかったにもかかわらず、取付したことによる拡大した不具合
- 次に示すものに起因する不具合は、保証修理致しません。
 - 保証書の裏面の問い合わせ先や保証書の受取先が変更された場合
 - 取扱説明書に記載されている注意事項が守られなかった事による不具合
 - 法令で認められていない改造車等による不具合
 - 弊社が認めない改造による不具合 (弊社が指定した以外の修理業者による修理、追加、再塗装、再メッキ、再パワ等)
 - 通常の保守点検あるいは整備の範囲による不具合
 - 装着される車種への不適当なホイール (サイズ、荷重等) の装着、およびフェンダーからの干渉、ホイールハブ内及びフェンダーとの接触、使用車ホイールのトラック、パスへの装着等による不具合
 - 装着するホイールに適合しないサイズのタイヤを装着した事による不具合
 - 弊社が指定した取付トルク、ナット、センターボス、ワッシャー、ハブボルト、バルブコア等の部品を使用した場合の不具合
 - 外傷、腐食、変形、歪み、オイル、ブレーキフルード、石、泥、錆粉、酸化物、塩素、凍結防止剤、洗剤等の外部要因による不具合
 - 地震、風水害などの天災、火災、事故による不具合
 - タイヤ、チューブの不具合の使用、タイヤ脱着時やトラス作業時の作業ミスによる不具合
 - 一般公道以外での走行、レース、ラリー、ジムカーナ、ダートラ等の競技での使用による不具合
- 次に示す保証修理実施に於ける費用負担は致しません。
 - 弊社が指定する場所以外で修理された場合の費用
 - 保証修理中の不具合および修理後の下記費用
電話代、車引代、休業補償、レンタカー代金、宿泊費、交通費、営業損失、高機能劣損費、使用中のタイヤの新品への交換等

販売店へ アルミホイールを装着する前に本書をお読みになり、お客様へご説明ください。
お客様にお買上げいただきましたアルミホイールは、必ず下記保証書の商品登録の欄及び購入年月日、販売店名、住所、電話番号等をご記入、ご捺印の上、本書をお客様へお渡しください。

保証書

販売店へ(お客様へご説明の上、下記事項をご記入いただき、必ず本保証書をお客様へお渡し下さい。)

ご購入商品名:			
サイズ径×リム幅	(イン・ゼロ・アウト) セット	穴・P.C.D.	色・仕様:
×		—	
×		—	ご購入・取付日 年 月 日
備考			車種名
			年式
			ご使用のタイヤサイズ
			ご購入店名 記入欄



シーエルリンク株式会社

〒739-0033

広島県東広島市西条町馬木564-1

TEL: 082-490-0602 FAX: 082-490-0603

アルミホイールを、正しく安全に、ご使用いただくために

販売店へ:

商品の確認 タイヤを組まれる前、商品のサイズ、カラー、P.C.D.、外観、エアバルブ等及び現車とのマッチングに問題ないか、ご確認ください。
万一、明らかに間違い、破損等があった場合は、直ちにご連絡をお願い致します。
タイヤを組み込み後のキズや塗装に関する返品は、一切受け取れませんので、ご注意ください。

この取扱説明書で使用している表示と意味は、次のようになっています。

- △ 危険 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険性が極めて高い内容です。
- △ 警告 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性がある内容です。
- △ 注意 取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性がある内容です。

タイヤを組付ける前に:

ホイールの選定、確認
ホイールのサイズ、イン(ゼロ・アウト)セット、取付穴径、P.C.D.、取付面形状等が、装着する車に適合する事を確認してください。これらが不適合すると車に装着できません。
△ 警告 車軸ごとに同じサイズ、同じ種類のホイールを装着してください。異なるホイールを混用すると操縦性、安定性が失われる場合があります。
△ 注意 ホイールとタイヤのサイズが適合しない場合、タイヤやホイールが損傷する場合があります。

バルブの装着、タイヤの組付け:

付属の専用バルブをご使用ください。クランピン(ナット締め)タイプのバルブのナットは、メーカーの指定トルクで締め付けてください。
タイヤの組付け時は、バルブも新品の専用バルブに交換してください。古いバルブをそのまま使用すると、ゴムメット(エアシール用ゴムパッキン)等のゴムの劣化で空気漏れが起こります。バルブコア(ムシ)は、ショートタイプ(JIS B型、9000番)を使用してください。
△ 注意 バルブは、付属の専用バルブをご使用ください。それ以外のバルブを使用すると、寸法、形状が合わず空気漏れが発生することがあります。TPMSバルブを装着する際は、リムの形状をご確認ください。取付可能な形状になっていないホイールに取付するとエア漏れ、その他の不具合が発生する可能性があります。

タイヤの組付け

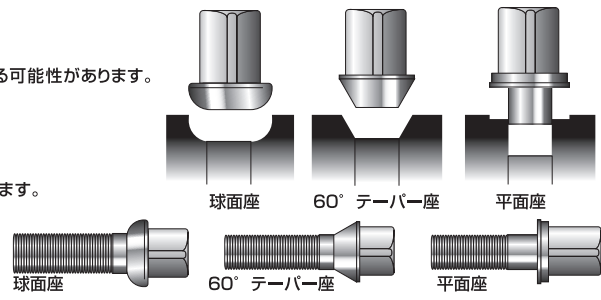
アルミホイールには、タイヤをアウト側から組付けるタイプと、イン側から組付けるタイプがありますので、確認の上、それぞれのリム形状にあった方法で、リム組みを行ってください。
リム組みの際は、必ずタイヤビード部及びビード部に潤滑剤を使用してください。
使用空気圧の充填は、タイヤビードがリムの風上にも均等にのっていることを確認した上で行ってください。
△ 警告 タイヤの組付けのための空気圧の充填は、安全圏内の中に入れてから、空気圧300kPa(3.0kgf/cm²)以下で実施してください。
△ 注意 リム組み後、水、石、砂、泥などによってタイヤとリムの嵌合(合わせ目)、バルブ等からの空気漏れがないことを確認してください。
バルブの空気漏れの確認はホイールのバルブ穴、バルブ口の双方を確認してください。
△ 注意 ホイールバランスは、必ず全軸を調整してください。バランスが狂っていると、異常な振動や操縦性、安定性の低下を来すことがあります。

センターキャップの取扱いについて:

センターキャップ、センターカバーには、機種によって、色々な取付機構があります。特殊なタイプは、その説明書に従って装着下さい。
センターキャップの取付け、取外しは、丁寧に、緩やかに、叩く等の衝撃を加えると、破損する可能性があります。

ホイールの車体への装着:

ナット、ボルトの選定
ホイールの取り付けナット座(ボルト座)には、60度テーパ座、球面座、平面座などがあります。それぞれの形状に合ったナット(ボルト)をご使用下さい。



車両のハブボルト(ボルト穴)と、取付けようとするナット(ボルト)の径、ネジピッチ、および長さの適合を確認してください。
△ 危険 取付けナット(ボルト)は、必ずホイール指定のものを使用してください。指定外の部品を使用すると、十分な締め付けが出来ないと、走行中にホイールが、外れる危険があります。

ナット(ボルト)の取付け

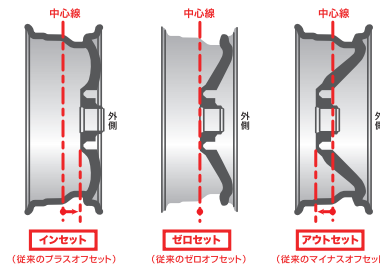
取付けナット(ボルト)の締め付け順序は、図のように緩急を繰り返す。その後、推奨トルクで均等に締付けてください。
(例)60度テーパ座の場合:M10=49~69N・m(5~7kgf・m)
M12=88~118N・m(9~12kgf・m)
M14=158~177N・m(16~18kgf・m)
不明な場合は、販売店にお問い合わせ下さい。

- △ 危険 走行中にホイールが、外れる恐れがあります。アルミホイールの車体への装着の際、以下の事項を必ずお守りください。
 - 車両の取付け面やハブボルトに、錆、汚れ、変形がないこと。
 - 取付けようとするホイールと車両の取付け面の干渉(車両取付け面上のピン、ボルト、センターボス、ワッシャー等とホイールとの干渉)がないこと。
 - 取付けナット(ボルト)の締め付けには、必ずトルクレンチをご使用ください。
- △ 危険 取付けナット(ボルト)は、締めすぎても、締め付け不足でも、ホイールハブボルト等の変形やゆがみを引き起こし、事故の原因となることがあります。トルクレンチを使用して、正しい締め付けトルクで締付けてください。
- △ 危険 取付けナット(ボルト)の最終締め付けに、インパクトレンチを使用しないで、トルクレンチを使用してください。締め過ぎは、ナット・ボルト・ホイール等の変形を引き起こし、事故の原因となることがあります。

アルミホイール装着の際は、常にスペアタイヤホイール取付け用ナット(ボルト)を、スペアタイヤホイールと一緒に保管してください。
純正スペアタイヤホイールをご使用の際は、純正ホイール用ナット(ボルト)をご使用ください。

※オフセットの名称変更について

2008年7月1日より、従来からの「オフセット」の名称が変更されました。これまでのプラスオフセットは「インセット」、ゼロオフセットは「ゼロセット」、マイナスオフセットは「アウトセット」と3つの名称になります。



装着後の確認:

車両に装着後は、タイヤ、ホイールが車両のフェンダーから、はみ出していないことを必ず確認してください。車体からはみ出した装着は法令で禁止されています。車両に装着後は、ハンドルを左右にいっぱい回して、車体との接触が無いことを確認してください。

空気圧の確認:

走行前に、タイヤの空気圧点検を必ず実施してください。特に扁平タイヤは、内圧不足による衝撃吸収性が低下し、タイヤ・ホイールを痛める原因にもなります。

ホイール装着後の走行:

ホイールを車に装着後、タイヤローテーション(装着位置の交換)した後は、100km程度走行した後、取付けナット(ボルト)を推奨トルクで増締めしてください。日常点検時に、取付けナット(ボルト)の緩みがないか、必ず点検してください。

異常時の注意と処置:

- △ 危険 タイヤ・ホイールに変形や損傷を引き起こすことがありますので、道路の縁石との接触、乗り上げ、チャタリング(キャブツア)への乗り上げ、凹凸の高速走行等は、避けてください。ホイールが変形した状態で使用し続けると、割れや亀裂の発生原因にもなります。
- △ 危険 急発進・急制動・急旋回は、タイヤ・ホイールを痛めるだけでなく、重大な事故の原因にもなりますので、絶対に避けてください。

日常のお手入れと保管:

アルミホイールは、耐腐食性に優れていますが、凍結防止剤や塩分等に長く、ホイールの腐食を避けるため、海辺や雪道・泥道等を走行した後は、十分に水洗いし、柔らかい布等で水分を完全に拭き取ってください。

スポンジ等のご使用や一部コンパウンド等での磨きも腐食の原因になることがあります。市販のホイールクリーナー(洗浄液)、ホイールコーティング剤の中には、変色・シミ・ムラの原因となる成分のもの(酸やアルカリ性の強いもの、研磨剤の入っているもの)がありますので、説明書をよく読んでから、ご使用下さい。

洗濯機での洗車し、ホイールを傷つけることがあります。手作業での洗浄をお勧めします。

「特殊加工品(ダイヤモンドカット等)及び特殊塗装品(スパッタリング等)」は、表面が非常にデリケートなため、市販のホイールクリーナー等を使用された場合、悪影響は塗装表面の傷、割れ、腐食等が起る場合があります。お手入れにつきましては、中性洗剤をご使用になり、多量の水と出来る限り柔らかい布で洗浄し、水気を十分に拭き取ってください。

メッキ用クリーナーや鉄粉除去剤は、使用しないで下さい。ご使用の際は、その商品の説明書をよくお読み下さい。

尚、洗車時の傷付けや縁石等で傷つけた場合の補修はできません。

保管について:

タイヤ・ホイールの保管は、せきれた洗浄の後、十分乾燥させ、直射日光・雨・水分・油類・高温多湿の場所を避けて、保管してください。

長期保管の場合は、装着されていた位置を、記録し、タイヤの空気圧を使用時の1/2程度に下げてください。再度ご使用の際は、タイヤの空気圧の補充、空気圧の点検、バランス調整を行い、タイヤ・ホイールに異常が無いことを確認し、装着位置に注意してください。

その他のご注意:

組立式ホイールについて

- △ 危険 組立式(2ピースまたは3ピース)ホイールの、リムとディスクの分解や組立ボルトを締めたり、増締めしたりは、絶対にしないでください。走行中にホイールが分解したり、急激な空気漏れを起こす原因となることがあります。ホイールの加工・修理の禁止
- △ 危険 ホイールの修理・加工は、絶対にしないでください。不適切な加工・修理は、見た目には分からない強度不足を引き起こし、大変危険です。修理のご相談は、販売店・メーカーにお問い合わせ下さい。尚、製造販売後、加工、修理を施されたホイールにつきましては、保証対象外とさせていただきます。

技術基準:

お買い上げのアルミホイールは、「軽合金製ディスクホイールの技術基準 (JWL又はJWL-T)」に適合しており「自動車用軽合金ホイール試験協議会 (VIA)」にも合格しております。安全および性能維持のために本取扱説明書の内容を守ってご使用下さい。ご不明な点は、お買い上げ販売店へ、ご相談ください。

乗用車用軽合金ディスクホイールの技術基準	トラック及びバス用軽合金ディスクホイールの技術基準	品質検査合格マーク
この基準は乗用車(乗員定員11人以上の自動車、二輪車及び軽便二輪自動車を除く)用軽合金ディスクホイールに適合している国土交通省の定める技術基準、この技術基準に定められる試験を製造者自らに実施し、合格した後に発行し、適合した物については JWL マークが表示される	この基準はトラック・バス用軽合金ディスクホイールに適合している国土交通省の定める技術基準、この技術基準に定められる試験を製造者自らに実施し、合格した後に発行し、適合した物については JWL-T マークが表示される	JWL JWL-T 基準に定めた適合品であるかを第三者公的機関の「自動車用軽合金ホイール試験協議会」が確認する物で JWL JWL-T 基準による厳格な品質・検査確認試験に合格した物については VIA マークが表示される。